



# 飯田・下伊那地域 自然エネルギー事業による地域づくり

2020.12.27

おひさま進歩エネルギー株式会社

電源開発担当 柏木愛

# 長野県飯田市・下伊那





# 豊富な日射量





## くだものが豊富





# りんご推し



いいだ人形劇フェスタ  
イメージキャラクター  
ゆるキャラ「ぼお」



遠山郷観光協会  
イメージキャラクター  
遠山郷観光大使「とおよま丸」



結い(UI)ターン  
イメージキャラクター  
「ゆいたん」



丘のまちフェスティバル  
マスコットキャラクター  
「ナミキちゃん」

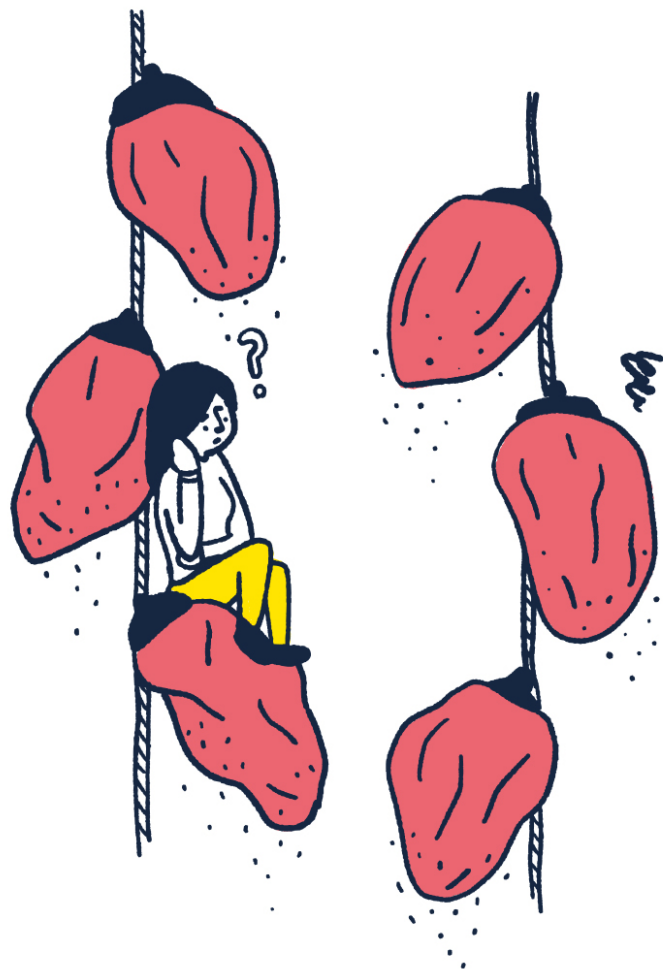


## 地域のお祭り：地域自治





# 気候危機の影響も





# おひさま進歩エネルギー株式会社



創業 2004年

社員数 11人

事業

- ①省エネルギー事業
- ②創エネルギー事業
- ③蓄エネルギー事業
- ④コンサルティング
- ⑤環境学習



マスコットキャラクター  
「さんぽちゃん」

SUN+NPO=さんぽ

飯田下伊那地域を中心に、地球温暖化を防止するためCO2削減事業を行っています。

# おひさま進歩エネルギー株式会社

## 企業理念

まちをつくる。  
あたらしい  
緑のエネルギー



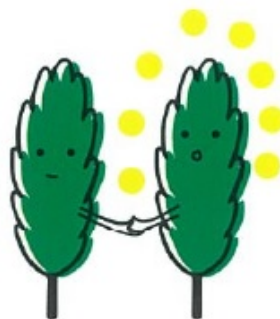
環境問題を後世に残さない  
未来志向のエネルギー

太陽光発電や小水力発電など、地球温暖化を先送りしない未来志向の自然エネルギーをお届けします。



まちをつくる  
地域に役立つエネルギー

100年後も幸せな暮らしがあるように。  
まちをつくる地域に役立つエネルギーです。



あなたと  
一緒につくるエネルギー

いいことはみんなでやりたい。みなさんに育てていただく、想いをのせたエネルギーです。



# おひさま進歩エネルギーの特徴

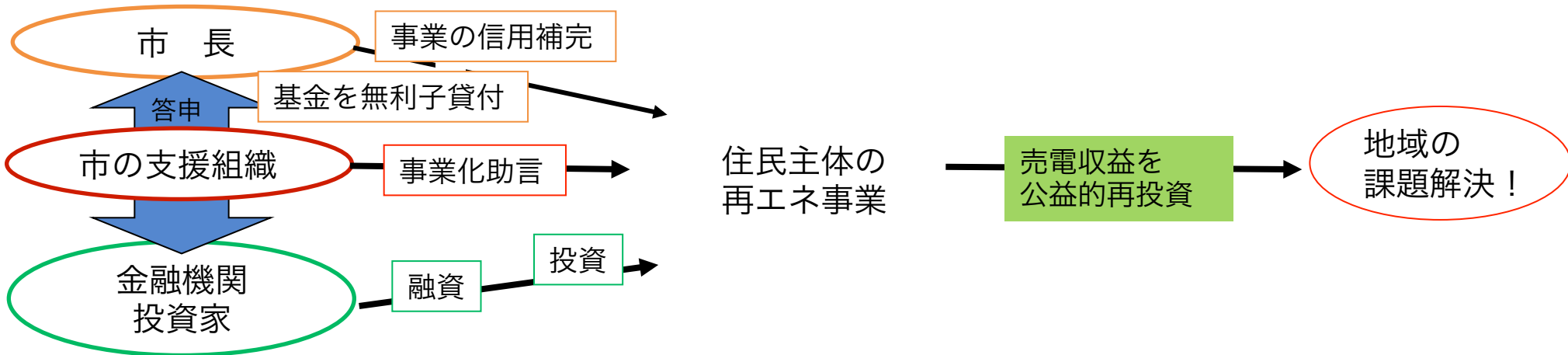
- 日本初の太陽光発電の市民出資「おひさまファンド」
- 太陽光発電「第三者所有モデル」のパイオニア  
(通称：屋根貸し事業、PPAモデル)
- おひさま発電所368カ所（設備容量7,766.8kW）※自社事業分  
(公共施設や個人宅、民間企業の屋根、野立てなど  
飯田下伊那地域を中心に、小規模発電所を数多く運用)

# 飯田市の「地域環境権条例」

## 飯田市再生可能エネルギーの導入による 持続可能な地域づくりに関する条例

「地域環境権」とは？

再生資源は市民の総有財産。そこから生まれるエネルギーは、市民が優先的に活用でき、自ら地域づくりをしていく権利がある。









# 飯田市立 旭ヶ丘中学校 生徒会選挙で公約したパネル設置実現



生徒会選挙に立候補した学生が校舎へのパネル設置計画を公約。校長、地域自治会やPTA、行政がその熱意に動かされ、後輩に引き継がれ2年越しで実現。

58kW (2016年3月16日～)

## 地域環境に中学生一役

**飯田 旭ヶ丘中 生徒が太陽光発電実現**

地域と一体となって環境問題対策に取り組む飯田旭ヶ丘中学校で、太陽光発電が始まった。生徒の提案をもとに、二年かけて事業を実現。つくり出した電力を売電事業などに活用し、地域とともに歩み続ける。(高畑章)

生徒会や伊賀良、山本両地区の住民らでつくる推進協議会が、市高一年が、福島第一原発の事故を踏まえ、民出資をもとに発電事業を手掛ける同市の「おひさま進歩エネルギー」と協働する。市公約に掲げて当選の条件で定める、再生可能エネルギーを生かした地域づくり事業の認定を受けた。

南校舎の屋上に設置した太陽光パネル二百十六枚などを活用する。一日の出力は一般家庭十五戸分の約五十六キロを見込み、校内の装置で交流する変換して電力会社に売る。

ほかに武道場に設置した太陽光パネルで発電し、体育館の非常用電源に役立てる。事業期間は二年、費用は南校舎の屋上に設置された太陽光パネル

飯田市旭ヶ丘中

総額約千七百万円。事業の起点は、二〇一四年度の生徒会役員を決める選挙。副会長候補だった羽田野勇二さん(東京都大塩町)が、福島第一原発の事故を踏まえ、民出資をもとに発電事業を手掛ける同市の「おひさま進歩エネルギー」と協働する。市公約に掲げて当選の条件で定める、再生可能エネルギーを生かした地域づくり事業の認定を受けた。

南校舎の屋上に設置した太陽光パネル二百十六枚などを活用する。一日の出力は一般家庭十五戸分の約五十六キロを見込み、校内の装置で交流する変換して電力会社に売る。

ほかに武道場に設置した太陽光パネルで発電し、体育館の非常用電源に役立てる。事業期間は二年、費用は南校舎の屋上に設置された太陽光パネル

飯田市旭ヶ丘中

中日新聞：2016年3月29日



# 旭ヶ丘中学校 「エネルギーと地域」を スタッフと一緒に学ぶ



# エネルギーの地産地消





# 電力小売もスタート

2004~



電気を送る



2018~

電気を売る



電気を使う



電気をつくるだけではなく、売る事業もスタート

南 信 州  
**CAMP**  
session

お客様の例



「手づくりのあたたかさ」

●せいの森キャンプ場

長野県下伊那郡阿智村清内路2991

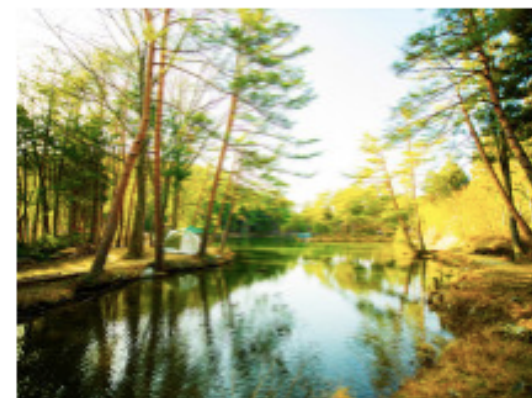


**ONSEN CAMP**

「生きる力を取り戻す森の休日」

●四徳温泉キャンプ場

長野県上伊那郡中川村四徳547



「おおぐて湖 de Chillout」

●おおぐて湖キャンプ場

長野県下伊那郡下條村睦沢7144



# 地域の子ども達への環境意識への働きかけ



おひさまパワーを確認！

設置当時の園児たちは20歳。  
次世代の担い手に。



「もったいない」を学ぶパネルシアター



パンプ回転おひさま発電中！さんぼちゃん31号機(設備容量6.04kW)  
民出資と環境省「平成のまほろばモデル事業」補助金でつくられました。  
2005年3月 鎮田市・おひさま進歩エネルギー株式会社

訪問者にもアピール  
(屋外)



園児向けパネルシアター



飯田まちづくり電力と  
連携した環境学習



- 高校生と地元企業をつなぐ事業

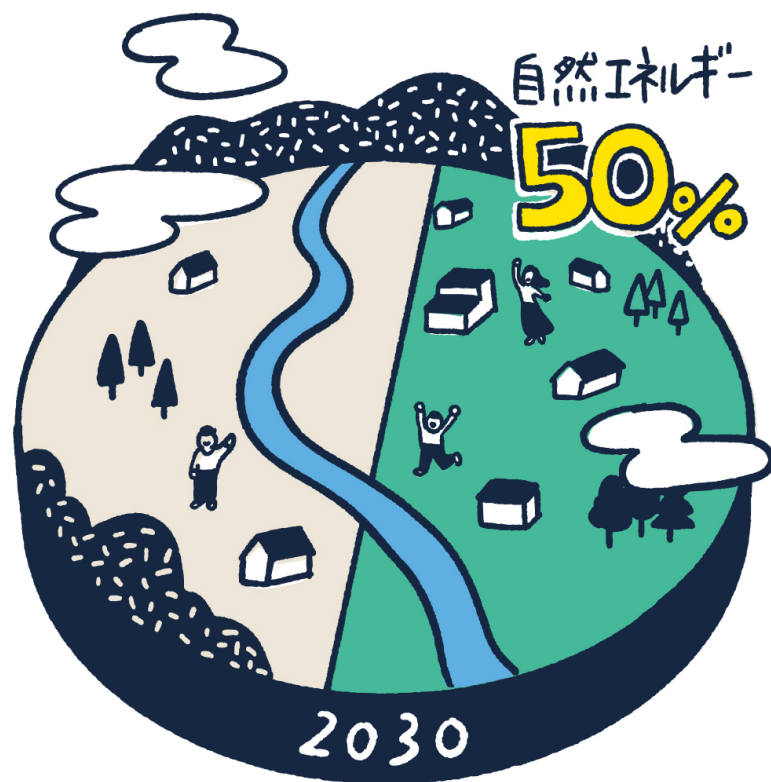


# 自然エネルギー事業者の仲間を増やす 飯田自然エネルギー大学



2016年5月開校。2020年11月～第3期開講。  
学長 諸富 徹教授（京都大学大学院経済学研究科）

おひさま進歩エネルギー 10年計画  
地域の電力50%を  
地域の再生可能エネルギーでまかなう





# 地域の発電の歴史から学ぶ エネルギー自治

飯田下伊那地域では明治期～昭和初期、  
地域住民が株式会社や電気利用組合を組織して、発電事業を行った。



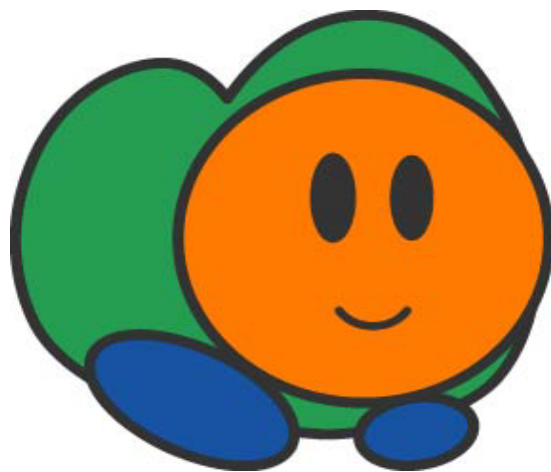
日本初の組合型小水力発電、竜丘電気利用組合の発電所(30kW)  
大正3年～昭和10年代

# 小水力のポテンシャル、全国1位





ご清聴ありがとうございました



さんぽちゃん

一歩、二歩、さんぽ、これからも進んでいきます。